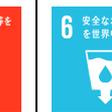


あかしSDGsパートナーズ取組計画書

明石市長 様

あかしSDGsパートナーズの取組計画を以下のとおり提出します。

(記入日) 2022年 6 月 6 日

団 体 名	明石市漁業組合連合会			T E L	078-942-2020				
代 表 者 名	大西 賀雄			メールアドレス	higasihutamigyokyou.takahashi@gmail.com				
目指すゴール 【複数選択可】 ※ゴール下の枠を チェックしてくださ い									
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
									
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2030 年ま でに達成 したいこ と	海底の貧酸素地帯を排除することで、底生生物増加を狙い、特にマダコ等の餌となる貝類や魚の餌となるゴカイ等の多毛類の資源回復を目指していく。								
重点的な取組 (※)	【取組①】						目標値 / 達成年		
	<p>●取組の趣旨・目的</p> <p>海底を耕耘する事により、硬化、ヘドロ化した底質の生息環境を改善し魚類やタコの餌料となる底生生物並びに貝類の増加を促し、加えて海底に滞留した栄養塩の溶出を促進することにより健全な海苔の生産の向上を目的とする。</p>						底生生物の種数と個体密度を 10%の増加を目標とする /2030 年		
	<p>●具体的な取組内容</p> <p>海底耕耘</p> <p>※海底耕耘とは、海に投入した鉄製器具「耕耘桁(こううんけた)」をロープに結んで船で引っ張り、海底を耕す作業。貝などの堆積物をかき混ぜ、硬くなった土や泥・砂を掘り起こすことで、海底の環境を改善し、中にたまっている窒素・リンなどの栄養塩を海に放出する効果があり、海の生き物が生息しやすい環境を作ること。</p>						該当するゴール		
							 		